

九州地区の8年6月住宅着工戸数
前年同月比31.5%増の6,908戸、福岡県は75%増

国土交通省がまとめた令和8年6月の住宅着工統計によると、九州地区の住宅着工戸数は前年同月比31.5%増の6,908戸で、床面積は同29.3%増となっている。県別の住宅着工戸数は前年同月比で福岡県が75%増、佐賀県が27.1%減、長崎県が13.7%減、熊本県が9.7%減、大分県が0.8%減、宮崎県が2.2%増、鹿児島県が74%増となっている。

新設住宅着工戸数(令和8年6月、令和7年6月)

都道府県	戸数・件数(戸・件)			床面積の合計(㎡)		
	令和8年6月	令和7年6月	前年対比(%)	令和8年6月	令和7年6月	前年対比(%)
福岡	3,790	2,166	175.0	283,262	166,501	170.1
佐賀	301	413	72.9	28,619	33,377	85.7
長崎	384	445	86.3	31,789	39,661	80.2
熊本	974	1,079	90.3	73,026	76,662	95.3
大分	381	384	99.2	33,613	31,547	106.5
宮崎	368	360	102.2	33,735	30,554	110.4
鹿児島	710	408	174.0	52,006	36,180	143.7
九州地区計	6,908	5,255	131.5	536,050	414,482	129.3
沖縄	839	644	130.3	57,145	49,713	114.9
山口	522	369	141.5	40,610	30,162	134.6
全国計	66,344	55,956	118.6	5,051,697	4,316,679	117.0